

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 638 号	氏名	濱口 大輔
学位審査委員	主査	中込 治	
	副査	中島 正洋	
	副査	西田 教行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、長崎県における子宮頸癌の主要な病因となっているヒトパピローマウイルス (Human papillomavirus: HPV) 16 型および 52 型の初回検診時におけるウイルス量が子宮頸部細胞診所見の進行についての予測因子となるかどうかを明らかにすることを目的としたものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では HPV52 型 および HPV16 型 の単独かつ持続型感染例それぞれ 24 例について、型特異的プライマーによる定量的 PCR 法 によりウイルス DNA コピー数 を求め、アルブミン 遺伝子量を対照として相対的ウイルス量を算出しており、適切な解析方法である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記の手法で解析した結果、HPV52 型 および HPV16 型 のいずれにおいても、子宮頸部細胞診の病変が進行する群では非進行群と比較して有意に多いウイルスが存在していることから、ウイルス量が細胞診判定の進行を予測する危険因子である可能性が示された。これは子宮頸部病変のある患者の臨床経過を追う上で極めて重要な知見である。</p> <p>以上のように本論文は HPV と子宮頸癌に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			